

凜

Rin

Osaka Ohtani
University

STUDENT INFORMATION MAGAZINE

vol.04
2017.01



Feature 巻頭特集

学生記者“SHOW子”が行く

学生記者をして気付いた思い
次の世代へつなぐ想い

Information インフォメーション

就職課インタビュー

学生記者“SHOW子”が行く

学生記者をして気付いた思い 次の世代へつなぐ想い

教育学部4回生 天良 祥子

天良祥子さん。彼女は2回生の時から学生記者として活動を続けている。

学生記者とは、大学が行う行政ボランティア活動や学内行事を取材し記事にまとめ、ホームページなどを通じて学内外に発信する仕事である。

彼女が活動を始める以前も学生記者がキャンパスブログ上で情報発信を行っていた。

学生記者を始めたいきっかけは意外にも先輩から勧められたことだという。

「実はまったくその気はなく、興味もありませんでした。でも断れない性格で(笑)。…でも、ある日気付いたんです、人と話すことが楽しい、好きなんだって。取材を続けていると嫌でも人と接するし、自分と一回りも年齢の違う社会の先輩方と話す機会もあります。もちろん最初は緊張しましたが、いつの間にか緊張を忘れて話に夢中になっているんです。

大変な役割でも楽しむことができるのは、彼女の人が好き、話すのが好き、何より楽しいというシンプルな感覚がそうさせているのだろう。

今では、現場でのイキイキとした情報だけでなく、それに関わった人たちの思いもできる限り具体的に見せて(show)発信し、多くの学生や学外の方に知ってもらいたいと考えている。

また、彼女はチームY.A.O.にも所属している。チームY.A.O.の活動は学内行事や地域行政との連携事業など多岐にわたり、年中様々な活動を行っている。そんな中で、自らの行事に参加する傍ら取材活動もこなすというのだから驚きだ。

その足で稼いだ彼女の記事は、現場の臨場感が伝わってくると評判だ。

「大変では?」と聞くと、笑顔で「今まで一度も大変だとか苦に感じたことが無いんです。むしろ楽しんで活動を続けています」。

さらに記者を続けたことで自分の夢や目標を見つけることができたという。

「取材をしていると私が知らなくても相手が私を知っていたり、私を通じて友達や先輩後輩の近況を聞かれたりすることがあるんですが、そこでもまた、気付いたんです。たまたま記者をやっている自分が人と人を繋ぐピースになっていたんだと…直接は聞けないことや知りたいことも私を通じてなら聞けたりとか、そういう役割ってとても大事なことなんじゃないかって」。

「先輩へのメッセージは?」と問いかけると

「私は『自分自身が任せられたら最後までやり通す』ことを大切に何事にも取り組みました。また『物事は簡単には進まないし、人に任せるとは、まず自分から動いて自分の道を築きあげて行く』ことも大切です。『最後までやり通す』気持ちを持ってきている学生がいてくれたら良いですね。この経験は絶対無駄になりません。自分自身の糧になるし、人との繋がりが増え、学生生活がより一層楽しいものになると私は思います。新たなことを始めるのは確かに怖いですが、でも自分の成長に絶対繋がります。大学と手と手を取り合って作り上げて行く学生記者が現れてくれたらうれしいです。」

そう言った彼女は最後に少し照れながら、

「将来私は、支援学校の教員になりたいと考えています。言葉や思いを伝えることが難しい障がいのある方々や子ども達を繋ぐ“架け橋”のような先生になれたらいいですね」。

笑顔が似合う学生記者は、近い将来きっと子どもたちの笑顔に囲まれていることだろう。



vol.04 INDEX 目次



02 Feature 巻頭特集
・学生記者SHOW子が行く



05 Activity report 活動報告
05 ・第51回 志学祭
06 ・リーダーストレーニング



08 Club intro クラブ活動紹介
08 ・バトントワリング部
09 ・和装礼法装道部
10 ・男子バスケットボール部
11 ・女子バスケットボール部



12 Information インフォメーション
12 ・国際交流室
13 ・就職課インタビュー



14 And more その他の情報
14 ・卒業記念パーティ開催日程
・大阪大谷大学創立50周年記念式典
15 ・アクセスルーム「YES・NO診断」
16 ・アクセスルームを活用しませんか?



Activity report 活動報告



第51回 志学祭 2016年 11/12日・13日

「翔～翔けだそう! 新たな一歩～」

6200名が来場して大盛況!!

大学祭実行委員会 委員長 山崎 春奈

平成28年11月12日(土)、13日(日)に第51回「志学祭」が開催されました。今年度の志学祭は「片平里菜」さんによる弾き語りライブや吉本芸人の「吉田たち」さん司会のカラオケ企画、「仮面ライダー エグゼイドショー」や本学生によるステージ発表、模擬店などたくさんの催し物をおこないました。さらに、昨年度からの防災に関する企画を引き続き計画し、富田市長公室危機管理室様をはじめ、錦織地区総代会様、自主防災連絡協議会様、自衛隊大阪地方協力本部様のご協力のもと、災害に関する講演会や避難所体験などの防災企画を開催しました。避難所体験に訪れた地域の方々に、講演や被災地の状況をパネル展示を通じて、被災者の厳しい生活現状などを伝えさせていただきました。私たちが災害の恐ろしさを再認識し、今後、地域の方々との連携活動に役立てていければと改めて思いました。他にも富田林警察署様ご協力のもと白パイ展示や錦織「あけぼの会」様にご協力いただき、風車やめんど遊び、紙芝居の読み聞かせなど昔遊びコーナーなど、行政、地域の方にご協力いただきました。今年は例年になく晴天にめぐまれ、来場者数も6200人を超え、大盛況のうちに終了いたしました。これも志学祭開催にあたってご協力いただいた皆さまのおかげと感謝申し上げます。来年度も学生をはじめ、子どもたちや地域の皆様方楽しんでいただけるよう、委員会一同取り組んでまいりますので、第52回志学祭にお越しいただければ幸いです。





総勢103名が参加。成長を実感できる1泊2日の

リーダートレーニング

2016年12/17日・18日



リーダートレーニングを終えて

体育会会長 人間社会学部 人間社会学科3回生 上村 昌弘

12月17日(土)・18日(日)、滋賀県マキノパークホテルで体育会・文化会合同でリーダートレーニングを行いました。今回は昨年とは異なり、1泊2日の合宿形式で、各体育会系団体と文化系団体からも2名ずつ参加し、体育会・文化会役員、TeamY.A.O、大学祭実行委員、教職員6名を含む総勢103名という大人数での開催となりました。今回のリーダートレーニングは2つの目標を掲げました。

1つ目は『課外活動団体の「リーダー」とは何なのか』を様々な視点から考え、今後の広い活動につなげていくことです。2つ目は『クラブ・団体運営に関する必要な知識、情報等を習得、普段交流する機会が少ない各団体所属学生との親睦』を深めてもらうことです。特に、会長就任当初から「横と横のつながり」の重要性をひしひしと感じていたので、リーダートレーニングを通して各所属団体同士がつながり、学内の活性化を目指していければと考えていました。

1日目は各団体を6班に分け、体育会は「リーダーとして、組織をうまくまとめるために必要な取り組みアイデアを考え、具体的にする」というテーマで、また文化会は「有意義な部活とは」というテーマでワークショップを行いました。難しいテーマだと思われましたが、役員を中心に話が展開され、多くのアイデアが出されました。

2日目にはワークショップの発表までこぎつけることができ、私たちが想像していたものをはるかに上回るクオリティーで、各団体だけでなく役員もすごく勉強になったワークショップになりました。ここで学んだことを各団体にどう落とし込むかが1番重要で1番難しいことだと考えています。

この貴重な体験で得たことを生かして各団体の成長につなげてほしいです。

Club intro

クラブ活動紹介

届け笑顔と元気、
バトンに乗せて



バトントワリング部



私たちバトントワリング部は毎週月・水・土曜日の週3回活動しています。現在部員は4名という少ない人数ですが、先輩、後輩、OGの仲も良く、明るく楽しい部活です。本年度は入学式やオープンキャンパス、志学祭でのパフォーマンスを始め、「泉北ハロウィンパレード」や「里の秋フェスタ」など地域のイベントにもたくさん出演させていただきました。そして、大阪大谷大学創立50周年記念祝賀会でも演舞させていただきました、とても貴重な経験をさせていただくことができました。さらに、吹奏楽部さんとのコラボレーションも実現し、2つの部活が一体となってイベントを盛り上げることもできました。先輩方が引退し、バトン歴の浅いメンバーばかりではありますが、持ち前の明るさとねばり強さを武器に、常に向上心をもって練習に取り組んでいきたいと思えます。多くのイベントに出演させていただけることに感謝し、見ている人に元気と笑顔をお届けできるよう精一杯頑張ります。
機会があればぜひ一度、私たちのバトン・チア演技を見に来てください。

凛と美しく、
自分を磨く和の心



和装礼法装道部



和装礼法装道部は、毎週水曜日と金曜日(大会前や長期休暇には月曜日も)の放課後に活動しています。
浴衣、振袖、小紋、袴など色々な種類の着物を鏡を見ずに自分で美しく装えるようになることを目標としてお稽古しております。外部の先生に来ていただき、着物の着装はもちろん礼法についても学んでおります。
礼法とは礼儀作法のことで、礼の角度や物の受け渡しの仕方など日常生活で役に立つ作法を活動を通して教えていただくことができます。姿勢などの見た目の美しさはもちろん、内面からの美しさまで磨くことができる部活動は和装礼法装道部だけではないでしょうか。
また、私たちは毎年秋に開催される『全日本着物装いコンテスト関西大会』に出場しています。学校対抗の部では毎年入賞しており、春の世界大会にも出場しています!そして、今年の振袖の部では『装いの準女王』に選ばれるだけではなく、残る部員全員が世界大会への出場が決まり好成績を収めております。この大会では日本髪を結うという貴重な体験もできます。人生で日本髪を結う機会はなかなか体験することではありません!興味がわいてきませんか。
着物と聞くと難しそうに聞こえるかも知れませんが、部員のほとんどは初心者で浴衣も装うことができませんでした。心配はいりません!着物や帯その他の小物まで部の道具を使用しています。ぜひ、私たちと一緒に着物を楽しみましょう!



いざ、ティップオフ 応援をチカラに



男子バスケットボール部

男子バスケットボール部は、関西学生バスケットボール連盟に所属し、プレイヤー19人、マネージャー3人の計22人で活動しています。練習日は、火・金・隔週の木曜日が午後6時から午後8時まで、土曜日は午後2時から約3時間、学内の体育館などで練習しています。

昨年度のリーグ戦で4部優勝、3部自動昇格を果たすことができました。2部昇格を目標に挑んだ今年度のリーグ戦では、初戦、格上相手に終始リードされるものの、残り数秒でバックシュートを決め、2点差で劇的勝利を収めました。しかし、絶対に負けられない試合や勝てそうな試合で勝ちを逃し、3部5位という悔しい結果に終わってしまいました。来年こそ昇格できるように、日々の練習でチームプレイを磨き、さらに個々で走り込みや、朝練、ウエイトトレーニングをより強化しています。

練習中は緊張感を持って集中して取り組み、練習が終わると笑いの絶えない明るく元気なチームです。また、先輩後輩間の仲も良く、プレー以外のことでよくコミュニケーションを取っています。そのチームワークの良さを武器に来シーズンの関西学生、西日本学生、大阪学生等の各大会で昨年以上の成績を上げ、リーグ戦に繋がる勢いをつけていきたいと思っています。また、歴代の先輩方から引き継いだ「周りから応援してもらえるチーム」であり続けることをモットーに部活動のみならず、ボランティア活動など様々なことにチャレンジしていきたいと思っています。

応援よろしくお願致します。

チーム一丸となつて 1部昇格を目指す



女子バスケットボール部

私たち女子バスケットボール部は、現在関西学生バスケットボール2部リーグに所属しています。

部員は3回生7名、2回生4名、1回生4名、マネージャー1名の計16名で活動をしています。ふだんの活動は、平日は夜8時まで、土日祝は学内の体育館で練習を行っています。

また、他大学へ出向いて練習試合などを精力的に活動しています。今年度の関西女子学生バスケットボールリーグ戦では自分達の力を出し切り、前回の順位より1つ上がることができました。また、関西女子学生バスケットボール秋季トーナメント大会にも出場しましたが、残念ながら1回戦負けという結果に終わってしまい、悔が残る大会となりました。この悔しさをバネに1部昇格を目指して切磋琢磨し、日々練習に励んでいます。

部内での先輩・後輩の上下関係はしっかりとしていますが、チームメイト同士仲も良く、また緊張感のある雰囲気や絶やすことなく、監督と共に全力で練習に取り組んでいます。チーム一丸となり同じ目標に向かって頑張っています。

女子バスケットボール部の応援よろしくお願致します。



Information

インフォメーション

国際交流室

Let's go abroad !! ～海外経験のススメ～

2016年度カナダ英語研修の参加者であるお二人に、その魅力について話してもらいました。

教育学科 4回生 東 浩輝さん 人間社会学科 4回生 安田 愛さん

安田さん:「私は海外2度目だったけど、東君は初めてだったんだよね」
 東さん:「1年間の留学やワーキングホリデーなども視野に入れて検討してたんだけど、いきなりの1年は厳しいということだったので、3週間の研修にしたらよかったよ」
 安田さん:「いききっかけになったんじゃない?本当に楽しかったし、本学から9人も一緒だったことも大きかった」
 東さん:「それぞれ!そのうち、6人も同じクラスになって(笑)。出発するまで、大学の事前授業でもほとんど話してなかったのに、こんなに皆と仲良くなれるとは正直思ってた」
 安田さん:「同じクラスの人の誕生日祝いを企画したり、一緒に近くのショッピングセンターに行ったり、面白かったよね～。カヤックも、どんだん岸から離れて、どこまで行くの、って感じだったけど、いい経験だった」
 東さん:「僕は道に迷った時のことがとても印象に残ってる。帰りが夜遅くなってしまって、一人だったから周りの人にもどんだん道を聞いて、Google mapも使いこなせるようになった(笑)」
 安田さん:「私は、帰国してから英語でwebサイトを閲覧するのに抵抗がなくなった。読まないに進まないから。ちゃんとしたホームステイも初めてだったから、洗濯機ひとつ使うのも難しかったり、乾燥機でびっくりしちゃうくらいジーンズが縮んで驚いたり」
 東さん:「でも、大変だったことも、今になると笑い話になっている。楽しかったことがものすごく印象に残っているから、本当に行ったら良かったかなって思う。海外に行こうかどうか迷ってる後輩のみんなには、ぜひ思い切って参加してほしい」
 安田さん:「申込みまで結構ハードル高かったって言うてる子もいたよね。私はそうでもなかったけど(笑)。みんな、そのころのこと覚えてないでしょ?ってくらいはじめて帰国してる」
 東さん:「僕は今年の春に直接、国際交流室に相談に行った。ゆっくり話を聞いてもらえて、自分の事情にあわせてアドバイスしてもらえたのが良かった。でも時間があるのなら、まずは留学ガイダンスで留学・研修の経験者の話を直接聞いて、計画的に“来年の夏に行こう”とか考えてもいいんじゃないかな」
 安田さん:「とにかく、迷ってるなら、まずは経験者の話を聞いて検討して、できれば海外を体験してほしい!」

海外留学・研修などを検討している学生の皆さん、1号館2階 国際交流室まで!お待ちしております。

2016年度 国際交流室企画 「国際交流アワー」

国際交流室では初の試みとなった「国際交流アワー」。もっと留学生と交流したい、彼らの母国語で話してみたいという声が上がって、6月に「韓国語で交流しよう!」を4回、7月に「中国語で交流しよう!」を2回、開催しました。特に「韓国語で交流しよう!」の参加者が多く、回を追うごとにどんどん人数が増えていき、これには韓国からの留学生も国際交流室もびっくり!中には、留学生と普通に会話ができるほど韓国語を流暢に話す学生もいて、参加者からは「もっと話をする機会を増やしてほしい」との要望まで出るほどに。そんな声を受けて、さらに「韓国語で会話しよう!」「中国語で会話しよう!」を個別・グループでの参加で開催。韓国や中国に興味のある学生が熱心に国際交流室へ足を運んで留学生と韓国語、中国語で会話をしながらさらに交流を深めていきました。留学生も学ぶ側から教える側になり、どんなことを伝えようか、どう説明したら分かりやすいかと毎回色々考えて来ては、楽しそうに話していました。

国際交流室では、今後も留学生と皆さんが交流する機会を増やすべく企画を検討しています。留学生と話したい、こんなことを一緒にしたいなど皆さんの意見や要望をお待ちしています!



▲もちろん、ちゃんと勉強もしていました



就職課インタビュー(その1) 相手を思いやる気持ちを持てる学生に

これまで「凛」では就職課のさまざまな取り組みについてご紹介してきましたが、今回は趣向を替え、就職課スタッフから学生のみなさんへのメッセージをお届けします。
平成28年度にあたらしく就職課に着任した田村課長補佐に、本学のこと、学生のみなさんを通して感じたことなどを語っていただきました。

「大阪大谷大学」の印象はいかがですか。

大阪大谷大学へ着任して早々でしたが、たまたま学内で会った学生さんから「こんにちは」とあいさつしてもらったことが、非常に印象的でした。「現在の大学生は、すれ違ってもろくに挨拶をしない」という先入観が見事に打ち砕かれました。それほど意外な出来事だったんです。挨拶のできる学生さんがいる、すばらしい大学だなと感じました。

就職採用試験のとき、「あなたの強みは」とよく面接官から質問されますが、「大阪大谷大学」の学生の強みはどこどころでしょうか。

建学の精神である「報恩感謝」ではないでしょうか。他大学の学生は、ひとりひとりのスペックは高いのに、いざ学外に出てひとりで行動すると、とたんに影が薄くなってしまいますが、本学では、「大乘仏教の精神」に基づき、互いの「いのち」を尊び、感謝の心で接し合うことができるような人間関係を築くことによって、輝かしい個性の集う理想の学園を作り、社会に貢献してゆくことを目指していますよね。その精神を本学のみなさんは、日々思い出し、学生生活を送っていると思います。例えば、靴を脱いだ時はきちんとそろえる、部屋に入る時は、帽子を脱ぐ、言葉遣いに気を付けるなど、相手を思いやる日常的な行動ひとつひとつに「報恩感謝」の気持ちが乗っています。さらに身だしなみが整えば、自分にも自信がつき、行動に言葉に余裕が生まれてくると思います。この余裕が、就職活動に必ずプラスに作用してくるのです。



就職課に着任して本学学生の就職活動の状況をご覧になっての感想をお聞かせください。

活動中の学生のみなさんと接していて、一番感じたのは「おっとり」ということです。働くイコールお金をもらう、この原理があまり理解されていないのではないのでしょうか。学生の身分では、ピンとこないかもしれませんが、社会の厳しさに気が付いてほしいのです。正社員で働くということは、その企業(団体)の看板を背負っているという自覚が必要なんです。たったひとつのミスのために、自分の働いている企業に損害を与えてしまうこともあるのです。その責任の重さを身体で感じてほしいんです。インターネットの情報や口コミだけで判断してしまうことが、いかに無責任な行動なのか、そこを分かってほしいと思います。

本学就職課の特徴を教えてください。

就職課員6名とキャリアコンサルタント2名は、手前味噌かもしれませんが、歴戦の兵(つわもの)ぞろいですよ。大阪大谷大学の看板を背負ったみなさんをバックアップする体制を整えています。それこそ、ときに厳しく、ときにやさしく、「鉛」と「鞭」の使い分けがうまい(笑)。今までの経験と新しいチャレンジ精神でみなさんの就職活動を応援しています。就職課とキャリアサポートルームを利用しない手はないんじゃないでしょうか。

これから就職活動を開始する学生のみなさんへのメッセージをお願いします。

とにかく、一度先入観を捨てて、目から[うろこ]を落とす努力をしていただきたい。休日や初任給だけを会社選びのポイントにするのではなく、その企業の魅力を自分の目で見て、肌で感じてほしいと思います。その方法として、就職課でも案内しているインターンシップや会社見学などに積極的に参加してください。

(写真は田村就職課長補佐)

個別相談受付中!あなたにとって「就職」とは。

就職に関するハテナや、あなたのキャリアデザインについてのご相談を受け付けています。



お問合せはこちら
大阪大谷大学 就職課

50
その思い、未来へ
OSAKA DAITANI

And more その他の情報

平成28年度 卒業記念パーティー

開催日程

文学部 文化財学科

日時／3月18日(土)
17:00(受付)・18:00～開始
会場／ホテル一栄

文学部 日本語日本文学科

日時／3月18日(土)
17:00(受付)・18:00～開始
会場／天王寺都ホテル

教育学部

日時／3月18日(土)
17:00(受付)・18:00～開始
会場／ヒルトン大阪

薬学部

日時／3月19日(日)
17:00(受付)・18:00～開始
会場／ハイアット
リージェンシー大阪

人間社会学部

日時／3月18日(土)
19:00(受付)・19:30～開始
会場／ホテルモントレ
グラスミア大阪

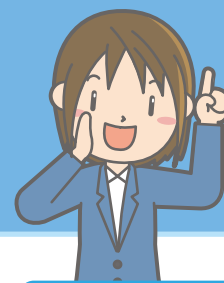
大阪大谷大学創立50周年記念式典

課外活動団体・学生スタッフ大活躍!!

平成28年11月26日(土)シェラトン都ホテル大阪大和の間、大阪大谷大学50周年記念式典が、パガニーニのウエルカム演奏が行われる中、卒業生(大谷女子大学文学部国文学科卒業)である吉田利佐さんの司会で厳かに式典が挙行された。

左藤理事長、尾山学長のあいさつや、来賓の方のあいさつがおこなわれる中、祝賀会会場には、吹奏楽部、バトン部がリハーサルを行っていた。これから始まる50周年記念祝賀会において、多数の招待者の方々がおられる会場で日頃の練習の成果を十分発揮するべく緊張の面持ちの中、待機していた。そんな中、会場内を走り回る学生スタッフ3名がいる。今回の式典、祝賀会の運営を任されている代理店およびホテル担当者と一緒に、式典が順調にトラブルなく進行するよう裏方として走り回っていたこの学生は教育学部4回生佐々木紅実さん、天良祥子さん、人間社会学部中澤葵美さんである。

当日のみならず、数週間以上前から何度も打合せを進め、当日の動き方や、進行の仕方を十分頭に詰め込んで、裏方スタッフとして職にあたった。祝賀会では卒業生(大谷女子大学文学部英文学科卒業)の雪本直子さんやさあささん(大谷女子大学文学部教育福祉学科)のアテンダントとして動いていたが、彼女たちを「すばらしい学生」とお褒めのお言葉をいただいた。パガニーニ、吹奏楽部、バトン部の学生たち、運営スタッフを担当した3名は、大阪大谷大学50周年記念式典に関わるという貴重な経験を得て、今後の人生の糧にしていきたい。



アクセスルームでは
みなさんのアクセスを
お待ちしております。

アクセ
ス
ル
ー
ム
を
活
用
し
よ
う!

アクセスルーム「YES・NO診断!」スタート!!

☑ YESの場合はチェックボックスにチェックを入れてください。

- Q1 授業や課題のことで困っていることがある。
- Q2 授業中の板書やスライドが見えにくく、授業の内容がわからない。
- Q3 授業中に教科書やプリントに書かれていない内容が話されると、理解ができない。
- Q4 授業中にメモが取れない。
- Q5 授業中に先生の声に集中したいのに、私語やノートをめくる音や書く音、エアコンの音が気になってしまう。
- Q6 試験問題を読んだり、解答の記入に人より時間がかかり試験で力を発揮できない
- Q7 レポートをしようと思っているのに、考えることやタイピングに時間がかかって提出までに間に合わない。
- Q8 授業のグループワークやディスカッション時に、友達と上手くコミュニケーションが取れない。
- Q9 実技試験やグループで複数の学生と同席すると周りの目や動きが気になり力を発揮できない。

「YES」が1つでもあれば
アクセスルームへ行ってみましょう。

大阪大谷大学 アクセスルーム

〒584-8540 富田林市錦織北3丁目11-1

TEL 0721-24-0381(代表)

TEL 0721-24-0917(アクセスルーム直通)

FAX 0721-24-5479(アクセスルーム直通)

e-mail:access-g@osaka-ohatani.ac.jp

場所は
こちら



1号館北館2Fの
こちら!!

アクセスルームを 活用しませんか？

授業や課題のことで
困っていることはありませんか？

大学生活は充実して
過ごされていますか？



アクセスルームで、
力になれることが
あるかもしれません

思い立った時に入室して
相談の予約をしてください！

支援コーディネーター
本吉 菜つき

裏面にある
「YES・NO診断」をやってみましょう！

大阪大谷大学 アクセスルーム

開室時間／月・水・金(9:00～17:30)

スタッフ／支援コーディネーター 本吉 菜つき(臨床心理士)

お問合せは、学生課まで

発行日:2017年1月15日